【令和４年度 国際交流・多文化共生コーディネーター講座】

外国人住民が亡くなったら
～様々な弔い方を知る～

愛知県には約 28 万人の外国人住民がお住まいで、在留期間に制限のない永住者、定住者が増加しています。今後、外国人住民の高齢化が進み、日本で亡くなる方も多くなると思われます。そうした際に、国や宗教の違いによって、弔い方が違ってくることをご存じですか？
今回の講座では、国や文化、宗教、習慣の違いによる亡くなった際の対応や葬儀をはじめとした弔い方等について学びます。

日時等

2022 年 12 月 8 日(木)
13:00～15:10（休憩含む）

会場：あいち国際プラザ
アイリスルーム
（名古屋市中区三の丸 2-6-1）

定員：50名 程度

対象：市町村多文化共生事業担当課・
市町国際交流協会の職員 等

①ご所属 ②お名前
③講師へ質問(あれば) …を、
【 koryu@aia.pref.aichi.jp 】
(交流担当)までお送りください。

◆問合先:052-961-8746
◆締切:12 月 2 日(金)

第1部

「外国の方が亡くなった時の対応方法と
ここだけは抑えたいポイント」

・亡くなった際にどう動けば良いのか
・国や文化、宗教による弔い方の違い
…などについて、これまでご自身が携わられた事例を基に、グリーフという視点も踏まえつつお話いただきます。

講師：ライフエンディングテクノロジーズ株式会社
取締役 **栗本 喬一** 氏

第2部

「弔い方・価値観～それぞれの観点から～」

最初に講師のお二人から、宗教ごとの弔い方や価値観・死生観について、その歴史・文化・生活的背景などを踏まえつつ、お話しいただきます。その後、栗本氏にも加わっていただいて、あいち多文化共生センターの多文化ソーシャルワーカー進行により、皆さんからの質問などにお答えいただきます。

講師：カトリック名古屋教区 司教 **松浦 悟郎** 氏
名古屋モスク **サラ クレシ好美** 氏

主催：（公財）愛知県国際交流協会